

## 仕事と社会とのかかわりを探ってみよう！ —事前学習の工夫による、より有意義な職場体験—

(総授業時数：52 時間)

### 実施学年、教科等

第2 学年 総合的な学習の時間

### 単元名

「仕事と社会のかかわり」

### 単元の目標

- (1) 職場体験前に自ら体験する職業と社会とのかかわりに関心をもたせ、調査し、発表させることにより、職場体験の際、課題をもち意欲的に取り組むことができるようにする。
- (2) 職場体験学習を通して、自己の適性を考え将来の進路について前向きに考えることができるようにする。
- (3) 職業に関する基礎的な知識を習得させ、職場体験学習を通して働くことの意義や大切さを理解できるようにする。
- (4) 職場体験学習を通して、一般社会における常識的なマナーなどを身に付けることができるようにする。
- (5) 職場体験のまとめとしての「職場体験新聞」に「仕事と社会とのかかわり」を取り入れながら完成できるようにする。

### 学習の評価

- (1) 仕事と社会とのかかわりを調査し、発表することができていて、職場体験の際、課題をもち意欲的に取り組んでいる。  
(発表・ワークシート<職場体験事後指導>)
- (2) 自己の適性を考え将来の進路について前向きに考えている。  
(ワークシート)
- (3) 職業に関する基礎的な知識を習得するためのワークシートに記入し、働くことの意義や大切さを理解している。  
(ワークシート)
- (4) 一般社会における常識的なマナーなどを身に付けている。  
(事前打ち合わせシート)
- (5) 「職場体験新聞」が「仕事と社会とのかかわり」を取り入れながら完成している。  
(職場体験新聞)

### 展開の特色

- (1) 「職場体験」は多くの学校で進路指導の一環として実施しているのが実情である。各自の進路の指針になるものとして大変有効である。この計画では一般的な目標に加え「仕事と社会とのかかわり」を意識しながら体験することにより、今までより視野を広げた深まりのある職場体験学習をすることができる。
- (2) 職場体験する事業所について「仕事と社会とのつながり」を事前に調査させる際、金融・経済関係と政治・社会関係の2つの視点から調査させることにより、漠然とした調べ学習にとどまらず、より具体的な調査活動が可能になる。
- (3) (2) のような調査活動や発表を行った後に職場体験を実施するので、各自が疑問や実態の確認などの課題をもって取り組み、より意欲的な職場体験学習になる。
- (4) 「職場体験新聞」を作成する際、単なる体験の報告書でとどまらず、「仕事と社会とのつながり」を意識した記事を取り入れた質的に向上が見られる新聞を完成することができる。
- (5) 各クラスでの「職場体験新聞」読み合わせ会やクラスの代表者による学年発表会を行うことにより、より良い体験をクラスだけでなく学年全体で共有することができる。

### 「学校における金融教育の年齢層別目標」の該当項目

\* 記号については、P.32～45を参照。

Dーア・ウ

### 学習内容のキーワード

適性、職業、仕事と社会、働くことの意義、「職場体験新聞」、進路

1 金融教育のねじりと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

● 指導計画 ※ 5日間 (6時間 × 5) の職場体験を含む

時数	ねらい	学習内容・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他 (教科等との関連)	
前時 まで	◎自己の特徴を知る。 ◎職業に対するイメージをもつ。	●「自分にはどのような特徴があるだろう？」 ・自分の長所や短所、適性などを知る。 ●「身近な人の職業調べ」 ・身近な人の職業についてインタビューしまとめる。			※ここまでの時点で、この学習が終わって なければ、指導計画のはじめに、この学習 を加える。	・職業調べ用紙
1	・社会にある仕事をつかむ。	●「世の中にはどのような仕事があるのだろう？」 ・テレビCMを見て、どのような会社かを考える。 ・社会にある仕事を挙げてみる。 ・自分が関心のある仕事を考える。	◆仕事(=職業)とは、社会の中において何 であるかということの興味付け程度で導入 する。	★いくつかの業種で編集しておく。	▼社会科(公民的分 野)	
2 3	・職業に関する基礎的知識を習 得し、働くことの意義を見い だす。	●「職業っていったいなんだろう？」 ・ワークシートにそって職業に関する事前学習を行う(職業の三要素、職業の 種類、働くことと生き甲斐、職業の選択、職業と適性、職業の資格・免許な ど)。	◆職業の三要素 ①生計の維持(生活のために収入を得る) ②社会への貢献(職業を通して各人が社会に 役立つ、一人ではできないことを共同で成 し遂げる) ③個性の発揮(自分の能力を生かし、仕事に 喜びや意義を見つける)	★「職場体験」を行うための基礎知識として 考えさせ、ワークシートにコツコツまじめ に取り組ませる。	▼特別活動 ・ワークシート	
4	・自分にあった職場体験を選 び、決定する。	●「自分が体験してみたい仕事はどれだろう？」 ・職場体験求人票から選び、応募者の欄に記入する(各個人のことなので、他 人に流されることなく自分の適性や興味をよく考えて選択する)。 ・職場体験場所の調整をし、決定をする。	◆現実の職業選びのような「求人票」を準備し、 そこに必要事項を記入し、多くの仕事(職種・ 事業所)の中から選ばせる。	★各自で掲示板に貼り出された求人票をよく 検討し、希望する事業所を選ばせる。 ★1週間以上掲示し、もし希望業種がないと ときには自分たちで事業所を開拓させる。そ のときは対応方法などの指導をあらかじめ 行う。	・求人票	
5	・依頼状、履歴書の作成方法を 知る。	●「職場体験を実施する前に、やらなくてはいけないことはなんだろう？」 ・職場体験依頼状を作成する。 ・私の履歴書(自己紹介カード)を作成する。		★ひな形に合わせ依頼状を書かせる。 ★私の履歴書(自己紹介カード)の決意の欄 にはきちんと記入させる。	▼特別活動 ・私の履歴書	
6	・マナーを身に付ける。 ・依頼状等を届ける。	●「職場体験を実施するとき、注意することはなんだろう？」 ・各事業所に向いたりするとき、礼儀正しくするためのマナーを身に付ける。 ・依頼状、私の履歴書の発送や、届け、事前打ち合わせをする。			・事前打ち合わせ シート	
7 8 9	・仕事と社会とのかかわり (金融・経済関係)	●「仕事はどうやって成り立っているのだろう？」 ・自分が体験する職場の仕事について、調査する。 《調査内容例》 (1)開業するために必要なもの？ (2)開業するための資金はどうしたのか？ (3)品物や材料の仕入れはどうしているか？ (4)販売先はどこか？	◆自分が職場体験に行く事業所は、社会とど のかかわっているか、調べさせる。 ここでは特に「お金」をキーワードとして 調べさせる。開業資金・仕入れ・販売・売 り上げ・給与・利益など「お金」を意識さ せて調べさせる。	★調査する視点や内容を、いくつかの業種に 分けて整理しておき、個人で考えさせた後 に、提示する。 ★調査資料の入手方法のめどを付けておき、 支援が必要な生徒には提示する。	▼社会科(公民的分 野) ▼家庭科	
10	・仕事と社会とのかかわり (金融・経済関係)	●「仕事はどうやって成り立っているのだろう？」 ・自分が調査した仕事について、発表し、情報を共有化する。	◆「お金」の流れを分かりやすく発表させ、様々 なかかわりを知り、業種よっての違いも 知る。	★なるべく異業種同士でグループをつくる。		

1 金融教育のねらいと  
基本的性格

2 金融教育の  
目標と方法

3 金融教育を支援する  
関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の  
作成と実施に向けて

5 小学校における  
金融教育

6 中学校における  
金融教育

7 高等学校における  
金融教育

資料

1 金融教育のねらいと  
基本的性格

2 金融教育の  
目標と方法

3 金融教育を支援する  
関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の  
作成と実施に向けて

5 小学校における  
金融教育

6 中学校における  
金融教育

7 高等学校における  
金融教育

資料

●指導計画 ※ 5日間 (6時間×5) の職場体験を含む

時数	ねらい	学習内容・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他 (教科等との関連)
11 12 13	・仕事と社会とのかかわり (政治・社会関係)	●「仕事はどうやって成り立っているのだろう？」 ・自分が体験する職場の仕事について、調査する。 《調査内容例》 ①開業するために知っておくべき法律は？ ②仕事の取引先との間で守らなければならないルールは？ ③この仕事が社会に貢献していることは？ ④この仕事の社会的責任は？	◆自分が職場体験に行く事業所は、社会とどのようにかかわっているか調べさせる。ここでは特に「社会とのかかわり」をキーワードとして調べさせる。開業するためのきまり(法律やルール)・取引先とのきまり・社会への貢献・社会的な責任(環境・影響力など)を意識させて調べさせる。	★調査する視点や内容を、いくつかの業種に分けて整理しておき、個人で考えさせた後に、提示する。 ★調査資料の入手方法のめどをつけておき、支援が必要な生徒には提示する。	▼社会科(公民的分野) ▼道徳 ▼特別活動
14	・仕事と社会とのかかわり (政治・社会関係)	●「仕事はどうやって成り立っているのだろう？」 ・自分が調査した仕事について発表し、情報を共有化する。	◆「社会とのかかわり」を分かりやすく発表させ、実態を知り、業種よりの違いも知る。	★なるべく異業種同士でグループをつくる。	
15	・体験に臨む上での諸注意を再確認する(挨拶、マナー、安全等)。	●「職場体験を実施する直前に、注意することはなんだろう？」 ・職場体験の事前指導で注意を確認する(目的の再確認・挨拶の徹底・マナーの確認・行き帰りの交通安全・職場での安全)。		★具体的に考えさせる。	▼道徳 ▼特別活動 ・ワークシート
16 5 45	・職場体験でいろいろな経験をし、自分にとって貴重な財産とする。	●「職場体験で、いろいろなことを体験し、知ろう、感じよう、考えよう！」 ・事業所の方々の指示に従い、働くこととはどのようなことを念頭に置いて積極的に活動をする。 ・「仕事と社会とのかかわり」を意識しながら活動に取り組む。	◆自分が調査したことの真意をできる範囲で確認し、現実を知る(「お金」の流れ・動き、社会とのかかわりなど)。 ◆広い視野で体験や事業所を見つめさせる。	★体験期間中の休憩時間などに、事前に調査した内容も質問できるように指導しておく。気が付いたことは「職場体験ノート」にどんどん記入させる。	▼社会科 ▼家庭科 ▼道徳 ▼特別活動
46	・感謝の気持ちを示す方法を知る。 ・自分の体験を振り返り、得たことをまとめる。	●「お世話になったからすることはなんだろう？ 体験を生かすためにはどうしたら良いだろう？」 ・正しい文章の書き方、礼状の書き方を学び、礼状の作成をする。 ・職場体験のまとめをする必要性を知り、事後アンケートなどに答える。 ・『職場体験新聞』に仕事と社会や自分とのかかわりも含めたプランを考える。	◆「体験した事業所」「そこで働いている人」「実際に働く体験をして」などの質問に答えることで社会とのかかわりを実感させる。	★気持ちのこもったお礼状を書くように指導する。 ★各自の体験やこだわりを大切にさせ、仕事と社会とのかかわりや自分の将来についても意識させながらまとめさせる。	▼国語科 ・事後アンケート
47 48	・自分の体験を新聞にまとめる。	●「『職場体験新聞』にどのようにまとめたら良いだろう？」 ・職場での体験を生かし自分の将来を意識しながら『職場体験新聞』を作成する(事前、体験中、事後に集めておいた資料や記録をまとめ、紙面に上手に仕上げる。原稿の整理、資料や写真などの整理、レイアウト、清書など)。 ・「仕事と社会とのかかわり」についても記事の一つとして書き込む。	◆社会とのかかわり(含む「お金」のこと)を意識した記事を入れるように心がけさせる。 ◆体験を通して自分が発見した「仕事と社会とのかかわり」を大切にさせたい。また、新たな疑問や課題も取り上げていく。	★下書き原稿をきちんと書き、レイアウトが整ってから、清書を丁寧にさせ、満足いくものを完成させる。 ★体験した仕事と社会とのかかわりについての記事も書けるようにアドバイス。	▼社会科 ▼家庭科 ▼道徳 ▼特別活動
49 50	・他の人の体験を知る。	●「クラスみんなの体験を知ろう！」 ・クラスごとに完成した全員の「職場体験新聞」を読み合い、評価する。 ・他の人の良い体験を共有し、良いまとめ方や作成の仕方を参考にする。 ・学年の発表会のためにクラスの代表を選ぶ。	◆様々な仕事がいちいち形で社会とかわっていることを知る。 ◆他の人の「職場体験新聞」を読み、いろいろな体験があることにも気付かせたい。	★全員の分をしっかりと読み込み、体裁ばかりでなく内容について正しく評価するように指導する。	▼社会科 ▼家庭科 ▼道徳 ▼特別活動
51 52	・学年の発表会を行う。	●「各クラスの代表者による学年発表会で、もっといろいろな体験を知ろう！」 ・各クラスの発表者は学年発表会で発表し、他の生徒はその発表を聞き体験を共有する。発表を聞きながら、新たな疑問や課題を探す。	◆新たな「仕事と社会とのかかわり」を発見できるように意識させた発表会にする。	★発表者は上がることがないように十分練習をしていくように指導する。楽しい発表会になるよう協力を促す。	▼社会科 ▼家庭科 ▼道徳 ▼特別活動
その後	・職場体験新聞を届ける。	●各自で完成させた「職場体験新聞」をコピーし、学校からの挨拶状といっしょに各事業所へ届ける。		★午後授業のないときなどを見計らって、各自(各グループ)が各事業所との連絡によって行うようにさせる。	

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料



●教材・資料等 (授業で用いる教材や資料、ワークシート等)

## 職業調べ用紙 インタビューのまとめ

相手の名前		
自分との関係		
1. 職業の名前は？		
2. 勤務先は？		
3. この仕事に就いて何年ですか？		
4. 具体的に、どんな仕事なのですか？		
5. なぜこの仕事に就いたのですか？		
6. この職業に就くために、資格や免許が必要ですか？		
7. この職業には、どんな人が向いていると思いますか？		
8. この職業に就いてよかったと思うことはありますか？		
9. 仕事をしていて、つらいと思ったことはありますか？		
10. 何のために働いていますか？		
11. これからの夢を教えてください。		
12. 職業や進路について、助言をお願いします。		
13.		
14.		
☆ 話を聞いて、感じたこと、考えたことなどを、まとめておきましょう。		

年 組 番 氏名

## 事前打ち合わせシート

組・氏名

事業所名	フリガナ	担当者
所在地 〒	電話番号	FAX番号
仕事開始時刻 (職場集合時間)	仕事集合場所	
休憩時間		
終了予定時刻		
服装、持ち物	昼食場所	
心構え	注意事項	
仕事内容ほか；		
通勤経路 (この欄は、職場ごとに相談して記入して下さい。)		所要時間 ( ) 分、
( ) 円		
自宅	⇒ 待ち合わせ場所	⇒ 経路
：	出発	：
		⇒ 職場
		：
		着

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

# 職場体験事後指導

／ ( ) 校時実施

(職場体験学習を振り返って)

組 番 氏名

職場体験はいかがでしたか。約2ヶ月間の事前学習を終えて、本番の体験を無事成功させることができました。これから、次の項目を考えることで事後のまとめをしましょう。

- ・ 選択する質問は、すべての質問で、最もあてはまる○を1つずつ塗りつぶしていきましょう。また、文章で書く質問は、よく考え、時間をかけていねいに書きましょう。
- ・ 次に得点の集計をします。選択する質問は、左から3点・2点・1点・0点になります。項目ごとに得点を集計して記入しましょう。

☆ あなたが職場体験をした事業所はいくつですか。	カ所				
☆ あなたが職場体験をした事業所名を書きなさい。					
事業所名	事業所名				
☆ あなたが職場体験をした時間数の合計はおよそ何時間ですか。	時間				
職場体験についての事前学習	1. 職業には大きな3つの要素があることが分かった	○	○	○	○
	2. 職業はいくつかの大きな分類ができることが分かった	○	○	○	○
	3. 働くことと生きがいについて考えることができた	○	○	○	○
	4. 自分がどんな職業に興味があるかが分かった	○	○	○	○
	5. 自分がどんな職業に適性があるかが分かった	○	○	○	○
	6. 自分が関心ある職業にどんな免許や資格が必要なのかが分かった	○	○	○	○
	7. 体験の職場を決める時、希望の職種について考えることができた	○	○	○	○
	8. 体験の職場が決まった時、あなたは希望の職種になることができた	○	○	○	○
	9. 体験の職場が決まった時、あなたは希望の職場になることができた	○	○	○	○
	10. 体験の職場へ電話連絡をした時、話がしっかりとできた	○	○	○	○
	11. 「私の履歴書」は、じっくり考えて書くことができた	○	○	○	○
	12. 体験の職場を事前訪問した時、打ち合わせがしっかりとできた	○	○	○	○
	13. 事前指導は、あなたが職場体験をするのに役立った	○	○	○	○
	14. 体験の職場を事前訪問したことは、本番の体験学習に役立った	○	○	○	○
事前学習の合計点		／ 42			
事前学習の自己評価		A	B	C	D
職場体験中	1. 時間（遅刻しない、勤務と休憩時間の区別）を守って活動できた	○	○	○	○
	2. 服装・頭髪などの身だしなみをきちんとできた	○	○	○	○
	3. 職場の方々やお客様に対して、言葉遣いを注意することができた	○	○	○	○
	4. 活動態度（あいさつや返事など）はきちんとできた	○	○	○	○
	5. 担当の方の指示など、話をきちんと聞くことができた	○	○	○	○
	6. 積極的に真面目に働くことができた	○	○	○	○
体験中の合計点		／ 18			
体験中の自己評価		A	B	C	D

職場体験を振り返って

- あなたが体験した仕事内容の中で特に印象に残っていることは何ですか。
- あなたが職場体験をして、うれしかったことは何ですか。
- あなたが職場体験をして、大変だったことは何ですか。
- あなたが職場体験をして、職場の方から学んだことは何ですか。
- あなたが職場体験をして、職場の方からほめられことは何ですか。
- あなたが職場体験をして、職場の方から注意を受けたことは何ですか。
- 職場体験をして、反省することは何ですか。
- 職場体験を終えての感想を書きなさい。

来年へ

☆ 来年の2年生へ、先輩としての職場体験のアドバイスを書いてください。

平成 年 月 日

第2学年保護者様

〇〇中学校長 〇〇 〇〇

第2学年主任 〇〇 〇〇

## 職場体験を終えてのアンケート

盛夏の候、保護者の皆様方にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
さて、第2学年の職場体験も、保護者、地域、各事業所の皆様方のご理解とご協力により、無事成功させることができました。ご支援、誠に有り難うございました。  
つきましては、今回の職場体験について各家庭で受け止められた内容を、今後の指導に生かしたいと思っておりますので、下記の項目にお答えの上、 / ( ) までにご提出下さいますようお願い申し上げます。

### 記

- 約2ヶ月間の事前指導を終えて、本番の3～5日間の職場体験を実施したことはご存じでしたか。  
( はい ・ いいえ )
- 職場体験についての学校からの通知文は、お子さんからきちんと渡され、お読みいただきましたか。  
( はい ・ いいえ )
- 職場体験についての学校の指導資料等を、お子さんから見せてもらったことがありますか。  
( はい ・ いいえ )
- 総合学習のまとめ取り（後期以降、総合的な学習の時間の一部が、普通授業に変更となります）という形で、平日の授業時間内に職場体験をすることはどう思われますか。  
  
\_\_\_\_\_
- お子さんから職場体験をしたことについて、具体的な話題が何かありましたか。  
( あった \_\_\_\_\_ ・ 今のところない )
- 保護者から見て、お子さんが職場体験を終えて変化したことはありますか。  
( あった \_\_\_\_\_ ・ 今のところない )
- 中学生に就労体験をさせることについて、どう思われますか。  
  
\_\_\_\_\_
- 今後、同様の職場体験を行う上で、改善すべき点や要望したい点を何でもお書き下さい。  
  
\_\_\_\_\_

アンケートの記入にご協力いただき、有り難うございました。